

(別紙)

平成26年度 横浜弁護士会 法に関する作文コンクール テーマ

＜テーマ内容＞「プライバシー権」について

次の【生徒同士の会話】を読んでから、「プライバシー権」についての【質問】に答えてみよう。

【生徒同士の会話】

生徒A子「ねえちょっと聞いてよ。こないだ学校から帰ってきて自分の部屋に入ってみたら、お母さんが勝手に私の携帯メールを読んでいたの！これっていくら親でもひどくない？」

生徒B子「それはひどいね。お母さんはなんでそんなことをしたと言っているの？」

生徒A子「お母さんが言うには、子どもであるあなたをきちんと育て上げる責任があるから、あなたが友達とどんなメールをしているのか、お母さんにはそれを知る権利があるのよ、だって。」

生徒B子「それをいうなら、A子にだってプライバシーの権利があるはずだよ。友達からもらったメールの内容は、たとえ親でも秘密にしたいと思うのが普通だよな。」

生徒A子「プライバシーの権利かあ、なんだか難しい言葉だね。」

生徒B子「他人に知られたくないプライベートな事柄を秘密にしておくことができる権利って意味かな。」

生徒A子「ふ～んそうなんだ。そういえばB子、最近、親友である私に何か隠しごとしてない？」

生徒B子「え！何のこと！？」

【質問】

社会には、プライバシーの権利を尊重するのか、あるいは、その他のことを尊重するのかという難しい決定をしなければならない場面があります。

プライバシーの権利が問題となったあなたの身の回りで起きた出来事や新聞などの報道で知った出来事、特にそうした出来事が思いつかない場合には、下記の（事例）の中から1つまたは幾つかの事例を取り上げ、プライバシーの権利を尊重することの大切さや難しさについて、あなたの考えを述べてください。

（事例）

- 1 学校でものがなくなったので、先生が生徒の持ち物検査をした。
- 2 会社が新入社員を入社させるときに、会社が用意した健康診断を受けさせて、そ

の結果を会社に提出させた。

- 3 テレビ取材のレポーターが、近所の人や知り合いから話を聞くなどして、有名人の私生活を調べ、テレビ番組で放送した。
- 4 結婚相手が浮気をしていないか探偵会社を雇って調べた。
- 5 旅行先で写真を撮り、自分のブログで公開した(その写真には観光に来ていた知らない人の顔がたくさん写っていた)。
- 6 繁華街での犯罪が減らないので、警察が防犯カメラを設置して、24時間録画するようになった。
- 7 インターネットで自分の名前を検索したら、5年前に人にケガをさせて逮捕されたときの記事が見つかった。